



"To acknowledge the duty that accompanies every right"
Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

THE OSAKA CENTENNIAL

C/O OSAKA YMCA
1-5-6 TOSABORI, NISHI-KU,
OSAKA, JAPAN

標語 YS SLOGANS (2001~2002)

クラブ会長『ひろがれワイズ ぬくもりのある共生社会をめざして』
国際会長 "Building new Y'sdom with the teachings of Jesus Christ"
『イエスキリストの教えに基き 新しいワイズダムの建設を』
アジア会長 "Be a Grain into the Ground"
『地中の種となれ』
西日本区理事 "No Dream No Future"
『クラブビジョンを語ろう』
中西部長『兄弟愛をつづけよう』

June 2002 No.12

Chartered July 20, 1982

クラブ役員 Officers

会長	: 中村 茂高
副会長	: 畠中 彰
"	: 松浦 孝次
書記	: 山田 孝彦
"	: 畠中 彰
会計	: 三浦 直之
ネット会長	: 畠中ひろみ
Y連絡職員	: 浜野 昌保

月間強調テーマ：『今期の振り返りと評議』

《《《 6月の聖句 》》》

[Biblical Message of the Month]

兄弟愛を持って互いに愛し、尊敬をもって互いに相手を優れた者と思いなさい。怠らず勤み、盡に燃えて、主に仕えなさい。希望をもって喜び、苦難を耐え忍び、たゆまず祈りなさい。聖なるものたちの貧しさを自分のものとして彼らを助け、旅人をもてなすよう努めなさい。あなたがたを迫害する者のために祝福を祈りなさい。祝福を祈るのであって、呪ってはなりません。喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい。互いに思いを一つにし、高ぶらず、身分の低い人と交わりなさい。自分を賢い者とうねぼれてはなりません。だれに対しても悪に悪を返さず、すべての人の前で善を行なうよう心がけなさい。できれば、せめてあなたがたは、すべての人と平和に暮らしなさい。

(ローマの信徒への手紙 第12章10~18節)

《《《 6月の例会 》》》

[June Club Meeting]

○ 6月 第1例会

日 時: 2002年6月19日(水) 18:30~20:30
場 所: 東洋ホテル3階

司会 新保 正秋君

1. 開会点鐘 中村 茂高 会長
2. ワイズソング 一 同
3. 聖句朗読 湯浅 充章君
4. 日々の糧・晚餐 一 同
5. 西日本区大会報告 山村利子ネット
6. 東日本区大会報告 坂本千春ネット
7. 「アメラジアン子どもサミット」準備状況 報告 中村 茂高 会長
8. 本年度の活動報告 各事業委員長
9. 優秀活動者の紹介 各事業委員長
10. 新年度予算の説明 三浦 直之会計
11. お誕生日祝い 一 同
12. ニコニコ献金 ドライバー
13. その他連絡・報告 各担当
14. 閉会点鐘 中村 茂高 会長

○ 6月 第2例会

日 時: 2002年6月26日(水) 18:30~20:30
場 所: 大阪YMCA土佐堀館9F

* 6月例会当番 第5班 (三浦、森田、湯浅、新保、山村、坂本)

* 6月お誕生日 Happy Birthday!!
黒田ネット 26日、新保ネット 28日

《《《 Attention Please 》》》

1. 6月例会では、各事業委員長から本年度の活動報告を行っていただきます。各位2~3分の報告をご準備下さい。
EMC (山村)、ファンド (栗山)、YSA・ユース (福永)、地域奉仕 (藤原)、交流 (谷川)、広報 (隅田)、ネット (畠中) の各事業委員長。

2. 8月第1例会は、「アメラジアン子どもサミット」8月25日(10:30~)のフェアウェルパーティおよびその後のクラブ集会(~14:00頃)となります。8月第2例会は28日(水)です。

【クラブ統計 Statistics】

2002年5月	種別	第1例会	第2例会	BF ポイント	ニコニコ献金
在籍会員 28名	メン	11名	6名	5月: 切手 235 gr. 現金 1,500 円	5月: 14,000 円
例会出席 13名	ネット	4名	名		
内マークアップ 名	ビジター	1名	名		
出席率 46.4% (Attendance Ratio)	ゲスト	名	名	累計: 切手 7,442 gr. 現金 39,000 円	累計: 181,030 円 (除く、クリスマス献金、 オークション、記念献金)
	合計	16名	6名		

◇◇◇ 今月の聖句に寄せて ◇◇◇

当クラブでは20周年記念事業として“日韓アメラジアン子どももサミット”を実施することになりましたが、私は、アメラジアンという言葉を聞いて、一瞬なんのことかと思いましたが、その内容を理解するにつれて、私たちのクラブにふさわしいプロジェクトだと思うようになりました。おそらく皆さんも同じお気持ではないでしょうか。

新しい世紀のキーワードの一つとして“共に生きる”が取上げられながら、実際には、その反対の事柄が次々と起きて失望することが多いのですが、それだけに私たちは心をひきしめて、このプロジェクトを通じて“多文化共生社会”的実現に努めたいと思います。今月の聖句をその点からも味わっていただきたいと思います。

(聖句選、コメント：田中 積二)

◇◇◇ 5月 第1例会 ◇◇◇

【 Report of the May Club Meeting】

5月15日(水) 18:30~20:30 プリテン：松浦 孝次

- はや梅雨入りかと思わせるようなうつとうしい日。そのせいもあってか 16人と小振りの出席でした。尾崎中西部長がゲストとしてご出席。冒頭 中村会長「奇しくも今日は沖縄本土復帰30周年の日である」と。
- 福永メンの聖句朗誦につづき、山田メンから、5月のテーマ：LT (Leadership Training)について「ワイスでは、すべての人がリーダーシップを發揮するよう求められており、それによって各人の成長が期待され、またお互いに他を支えあってそのことを実現している。当クラブは役割の分担=役員の交代制で模範的にやってきたことを誇りとする」との解説がありました。
- 「沖縄アメラジアンスクール訪問報告」が藤原メンからありました（プリテン5月号にも掲載）。同スクールを取り巻く社会環境、置かれている実態、けなげに学ぶ子供たちの姿について、生々しく説明がありました。そして、本場で味わった沖縄の食は絶妙だったとのこと。
- 続いて中村会長から、「アメラジアン子どもサミット」の準備状況—資金調達の完了、来訪メンバーの確定、土佐堀YMCA運営委員会での説明等の報告がありました。そして、「当クラブメンバーはウェルカムとフェアウェル・パーティに主として参加しよう」とし、皆さんの参加の意向を聞きました(各人の確定版は改めて後日に)。

20周年事業としてプログラム上での位置づけ、プレス対応、当クラブのTシャツを作成して皆で着よう！などの意見交換を行いました。

◇◇◇ 5月 第2例会 ◇◇◇

【 Report of the May Officers' Club Meeting】

5月22日(木) 18:30~21:00 書記：山田 孝彦

● 6月例会プログラム

プリテン当月号P1記載のとおり決定。

各事業委員長から、本年度の活動報告と、今期の優秀活動メン・ネットの紹介(例年の表彰はやらない)を ♂

◇◇ Club Activities (May, 2002) ◇◇

The club's May meeting was held at the Toyo Hotel, with a total 16 Y's men, Y's menettes and a guest in attendance. This date marked the 30th anniversary of the return of the Okinawa Islands to Japan from the USA. The Leadership Training was emphasized for this month, so Y's Man TAKAHICO YAMADA, secretary of the club outlined the purpose and objective of the program.

Y's Man MASAMI FUJIWARA, who has recently visited the Amer-asian school in Okinawa together with four other members of the club, made a brief report on his observation trip and the outcome of the meeting with Ms MIDORI THAYER, principal of the school.

President SHIGETAKA NAKAMURA made a significant report that he had finally succeeded in receiving a two million-Yen donation from a NGO in Tokyo for the planned Amer-asian conference. He then explained the full details of the planned schedule of the conference and asked all members and Y's menettes for the full support and cooperation to the conference, especially at the time of the welcome party on the first day and the farewell party on the last day of the conference.

The enthusiastic discussion on this particular subject followed until the end of the meeting.



♂ 行う。新年度予算の説明も実施する。

● 7月例会プログラム

新旧会長の交代式と、新年度の事業方針の説明を行う。

● 8月例会のもちかた

「アメラジアン子どもサミット」に注力するため、例年行ってきた「なかのしまクラブとの合同納涼例会」を今年はとりやめ、「25日のフェアウェルパーティおよびその後のクラブ集会」を8月例会とする。8月第2例会は、第4水曜の28日(水)。

● 「アメラジアン子どもサミット」

中村会長から報告あり。①奈良、沖縄、韓国の参加者が確定した。②大阪YMCAにお願いしていたリーダーと韓国語の通訳ができる人(計8人)も決まった。③YMCAと関西TVのリーダーの役割分担と事前打合せ予定はきっちりと進める。

プログラム全体について検討し、詳細を更に詰めていくこととした。

お知らせ

1. ワイズメンズクラブ国際協会・第5回西日本区大会
6月8日(土)ホテルグランヴィア京都で開催。

2. YMCA(大阪&土佐堀)行事の予定

- ・大阪YMCAクリスマス献金キックオフ：11月から
- ・土佐堀YMCAカーニバル：11月4日(祝・月)
- ・大阪YMCAチャリティーラン：11月10日(日)
- ・土佐堀YMCAクリスマスの集い：12月7日(土)

YMCA ニュース

連絡職員・浜野 昌保

★夏期特別プログラム受付中！！

今夏もたくさんの特別プログラムを計画しています。キャンプや体育教室、夏期講習、英会話など盛りだくさんです。ご家族やお知り合いの方にぜひお勧めください。

★大阪YMCA早天祈祷会

日 時：6月21日（金）7：30～8：30

場 所：大阪YMCA会館 10階チャペル

証 し：神前 順次氏（大阪YMCAスタッフ）

問合せ：大阪YMCA Tel.06(6441)0894

★第3回土佐堀YMCA環境教育セミナー

「地球温暖化と都市のヒートアイランド現象について」

日 時：6月28日（金）19：00～20：30

場 所：大阪YMCA会館

講 師：樹元 慶子氏（大阪市立環境科学研究所）

問合せ：土佐堀YMCA Tel.06(6441)0895

★ホストファミリー募集！！

カナダ・リジャイナ市の「リジャイナ・ライオンズバンド」に所属する14～18才の男女です。日本の日常生活や文化に直接触れる体験をするために受け入れのご協力をお願いいたします。期間は7月8日（月）昼～12日（金）朝。問合せ：大阪YMCA Tel.06(6441)0894

5月 BF ニュース

【 Report of the Brotherhood Fund in May】

BF委員長・栗山佳三

◇現金提供者：山田、中村隆君

◇切手提供者：山田、中村隆、隅田、三浦君

★今月の殊勲賞：山田君（155g） 中村隆君（70g）

奈良NPOセンターを訪問する

松浦 孝次

4月29日中村茂、栗山メンと松浦の3人が、「アメラジアン子どもサミット」のプログラムや参加メンバー等の詳細について打合せするため、「奈良NPOセンター」を訪問。仲川順子理事長、ナラ・ファミリー&フレンドの内海眞子運営委員（3月20日に本クラブ例会で講演していた）、同センター理事のアダルシュ・シャルマさん（英語を教えておられる）に会った。

奈良からは、在日外国人の子どもたち10人と数人の引率スタッフが参加してくれる。仲川さんは、「交流によって子どもたちの世界が広がるので大変意義がある催しだ」と語られた。あわせて、同センターがいま展開している、幅広い活動のお話をうかがった。

同センター事務所は、東大寺境内にある旧東大寺学園の学舎を借りている。南大門のすぐそばで、東大寺の塔頭の薬が見える素晴らしい環境にある。余談だが、3人はこの訪問に先だって、奈良国立博物館で開催中の、大仏開眼

1250年を記念しての「東大寺のすべて」展を見学し、天平以来の輝ける東大寺の歴史と文化を堪能した。

2001～2002年度 中西部YYフォーラムの開催

YSA・ユース委員長 福永 嘉彦

★テーマ：「YMCAの活動一とくに青少年育成事業の今日的意義を確認する」

★目的：YMCAの青少年育成事業を理解し、その社会的意義とこれからのあり方、これを支えるためのワイズメンズクラブの活動の関わり方を探ること。

5月11日（土）15時～18時、大阪YMCA会館チャペルで開催された。当クラブから栗山、三浦、山田メンと福永が出席した。（登録出席：16クラブ、94名）

開会式のあと、本行輝雄前日本YMCA同盟統括の基調講演で、YMCAが青少年活動を行う意味や、青少年を中心としたながらYMCAとワイズが協同していくべきことについて、話された。

続いて長尾コーディネーターにより、6人のパネリストがそれぞれの現場での体験に基づく発題があり、12のグループに分かれて、①子どもたちやリーダーの「育ち」につながるプログラムは何か、②子どもたちやリーダーはどういうすればYMCAに集まるか、③青少年育成事業のこれからのある方について、それぞれ話し合いがなされた。



（YYフォーラムで真剣に討議するパネリストと参加者のみなさん）

IBC ニュース

誕生日、ハワイブラー輔

IBC・DBC委員長・谷川 寛

近頃の私たちのブラークラブ、「アスクラブ」ブレーンによりますと、同クラブ選出のハワイ区理事、Phyllis Sakaneさんは大活躍で、クラブ会員が彼女を支援しています。

このたび彼女の発案で、ワイズ運動をPRする宣伝用ビデオを作成したそうです。この宣伝ビデオは、近くハワイテレビ局、Olelo テレビで放映されるそうです。会員が、もちろん無報酬で出演しています。お馴染み顔ぶれが登場しているそうです。

一度、是非見てみたいですね！！

THE OSAKA CENTENNIAL

ニコニコ・メッセージ

【Messages from the Club Members】

ゲストからのメッセージ

○「アメラジアン」正直のところ知りませんでした。6人の方々が沖縄に行かれて、打合せをされて来たお話。8月に向かって、これで“よし”という感じ。
(中西部長／大阪セントラルクラブ・尾崎琢磨)

“ごぶさた”メッセージ

○親類の法事にどうしても出席しなければなりませんので、欠席致します。アメラジアンプログラムを知るためにも出席したかったのですが、残念です。次回は必ず出席致します。
(川村一夫)

○いつもお世話になります。連休中は家にこもってディズニーの本の原稿を書いています。とはいっても、思うように進捗しませんので、執筆の合間に、近所をぶらぶら散歩して、他人の家の花を愛でています。
(貴多野乃武次)

○国際大会へは申込済、西日本区も申込済。(鈴木謙介)
○他用のため欠席いたします。皆様によろしく。
(田中穰二)

○ご存知のイスラエル—パレスチナ紛争の激化に対して、世界のYMCAsもいろんな形で、戦争終結のための運動を展開しており、アジア同盟もステイトメントを出しましたが、いろんな意見があり、事態收拾の作業を、毎日メールや電話で、香港・ジュネーブとの交信で忙しくしています。なお、5月16日神戸YMCAsで「平和を創り出す集会」が午後6:30からあります。
(谷川寛)

○欠席となります。よろしくお願いします。(山村幸明)

会員からのメッセージ

○沖縄返還30周年の日にアメラジアンについて話し合える機会を得て良かったです。
(鎌田史朗)

○アメラジアンのサミットへの参加に対して、だんだんとわくわくしてきました。楽しみにしています。
(坂本千春)

○沖縄が身近になってきました。サミットが楽しみです。
(隅田恵子)

○「アメラジアンこどもサミット」の3つの団体の参加者も決まり、助成金の決定、沖縄復帰30年のタイミングのよい例会に、決意も新たです。頑張りましょう。
(中村茂高)

○アメラジアン子どもサミットの準備が着実に進められているようです。鈴木さん、黒田さんの為にも来月の例会が晴れますように。
(中村幸枝)

○アメラジアン子どもサミットの準備が着々と進んで、ワクワクしてきますね。センティアルワイズの力を結集して成功への道を歩みましょう。
(浜野昌保)

○沖縄行ご苦労様でした。8月のパーティが、アメラジアン子ども達への所期の目的を達成し、是非成功するよう祈ります。
(福永嘉彦)

○先月は休み、今日はまたいいお話を聞きして感謝です。アメラジアン子どもサミットの成功を祈ります。
(福永滋子)

○アメラジアンサミットも間近に迫って参りましたが、準備も順調に進み、いよいよ開催の運びとなりました。「歓迎セレモニー」や「さよならパーティ」では、センティアルの総力をあげて思い出に残るイベントにしたいものです。是非皆さんのご協力をお願いいたします。
(藤原正巳)

○急な欠席もあり、やや少な目の出席だったが、アットホームな雰囲気での例会であった。アメラジアンこどもサミットを主題に、より突っ込んだ意見交換ができた。単なる一過性のイベントにとどまらず、今後に続く社会奉仕のきっかけとしたいのだ。
(松浦孝次)

○アメラジアンサミットの計画もだんだん具体的に形をなしてきました。ワイズとYMCAsだけでなく、いろいろな団体からも支援の手がさしだされています。その意味でも責任を新たに感じています。
(山田孝彦)

○・日韓子供サミットを是非成功させましょう。
・今夜の雨は少しばかり、うつとうしく感じられる雨でした。
(三浦直之)



ご報告

1. ワイズ関係の行事・会議への出席 (以下 敬称略)

* 中西部YYフォーラム: 5月11日(土)

(YMCAs土佐堀館チャペル) 栗山佳三、福永嘉彦、三浦直之、山田孝彦

* 大阪ヴェクセルクラブ5周年記念例会: 5月11日(土)

(同上) 栗山佳三、中村茂高、畠中彬、三浦直之、山田孝彦

* 第5回中西部(新旧合同)評議会: 6月1日(土)

(YMCAs土佐堀館) 栗山監事、山田次期EMC事業主査、松浦次期会長



(沖縄アメラジアンスクールの校舎)

《編集後記》

5月16日(木)夜、毎日放送TV「筑紫哲也NEWS 23」を見ました。沖縄現地取材による放映で、「沖縄アメラジアンスクール」の校舎、セイヤー校長や子供たちとのインタビューなど。アメリカ人の父親と40年ぶりに再会したアメラジアンの男性(40歳代)が「両国の掛け橋になりたい」と語っていたことが印象的でした。

なお、ブリテン5月号「沖縄アメラジアンスクール訪問報告」の記事で、同スクールの所在地は、浦添市ではなく「宜野湾市」に訂正します。
(松浦孝次)